

東邦大学医療センター大森病院

からだのとしょしつ だより

19号 2017/1/20

【資料の紹介】おすすめの一冊



イラストでわかる！ 特定保健用食品と医薬品

藤本浩毅、篠塚和正著/文光堂 2016



*** ** * ** * ** * ** * ** * ** * ** *

- 近年身近になった特定保健用食品は、身体への作用と有用性が明確で安全性も確立されています。
- 一方で、別の食品や医薬品と併用することで、効果が打ち消し合ったり、強く出すぎることもあります。
- 本書は特定保健用食品の作用機序と医薬品の作用機序をわかりやすくイラスト化して、関連性を視覚的に理解できるよう解説されています。

「TOHO いえラボプロジェクト」見学記

2016年11月19日（土）「からだのとしょじつ」ボランティア6名と司書3名が参加して、氷雨の降る中「TOHO いえラボプロジェクト」の見学会を致しました。「いえラボプロジェクト」とは、2014年に「都市部の超高齢社会における諸問題を解決できる看護師の養成を大学と地域が一体となって推進する事業」として開始されました。東邦大学では、これからの看護師は「まち」の中の「いえ」で学ぶを目標に「いえラボ」を大田区西嶺町に設置し、地域の高齢者の生活をサポートする「学びの家」として看護師養成プログラムを作成し実施しています。

「いえラボ」は、静かな住宅街の一角にあるマンションの1階にあり、室内は一部（浴室）を除きバリアフリーです。面積は約70㎡の3LDK。仮想住民をモデルに「高齢者の住まい」、「地域住民の交流の場」そして「生活用品、医療用備品」のショールームの役割もしています。

【救急キット】筒状の容器に救急時に迅速な支援ができるように必要な個人情報が入入してある書類が入っている。保管場所は冷蔵庫。

【実習用品】人体模型。体温計。照度計。非接触型体温計。

【環境用品】玄関にはサポート用の椅子。柔らかな採光の電灯。断熱カーテン。間仕切り用に透き通ったカーテン。床はタイル型絨毯。本棚は天板に溝が掘ってあり、立ち上がりには支えになる。椅子は、体型を考慮し腰の回転がし易く工夫されている。ケアコムは試作品でナースコールのような機能にしたいとのこと。

【高齢者介護実習に必要な機器】サーモグラフィ：顔や手を近づけて体温測定。騒音計測器。体圧計：褥瘡予防。パルスオキシメーター：血中酸素濃度測定。ムーカス：口腔内の水分測定。持ち物のネームホルダー。食器：手になじみ易く落としても割れない。

今回の見学は、今後すべての人が迎える超高齢化社会。その中で老後の日常生活を過ごす環境＝家（場）として大変参考になりました。

（文責 S.T.）





◆なのはな文庫のご案内◆

◇なのはな文庫は、毎週火曜日の午後、おもに病棟のデイルームを巡回して本棚の本の整理をしたり、新しい本を補充するボランティア活動です。

◇一人でも多くの患者さんが、本を読まれることで日々の時間に安らぎと癒しを感じていただけたらと思って活動しています。

◇大田区立図書館からリサイクル本をいただいています。

◆なのはな文庫はこちらで活動しています◆

外来1号館：小児医療センター、産科・婦人科

メンタルヘルスセンター、皮膚科

2号館：整形外科、糖尿病・代謝・内分泌センター

病棟1号館4階、2号館4階から9階、

3号館4・5階、5号館4・5階

6号館1・2階



編集・発行：からだのとしょじつ

東邦大学医療センター大森病院 2号館 3階

開室日時：9:30から16:30 *第2火曜日は14:30まで

第3土・日・祝日はお休み

「からだのとしょじつ」ホームページもご覧ください。

<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/karada/>